

県立高等技術専門校再編整備事業に係る大規模事業評価調書の要旨

経済商工観光部産業人材対策課
令和3年10月作成

行政活動の評価に関する条例第5条第1項の規定により、県立高等技術専門校再編整備事業に係る大規模事業評価の「評価調書」を作成した。その要旨については、以下のとおりである。

1 対象事業名

県立高等技術専門校再編整備事業

2 事業の概要

県立高等技術専門校については、少子化等の影響による若年者の人口減少や、企業ニーズを踏まえた知識・技能の高度化、業務の複合化への対応が求められているほか、白石校以外の施設は築年数が経過している状況である。

こうしたことから、県職業能力開発審議会において県立高等技術専門校の整備のあり方について諮問し、その答申を踏まえ、効率的・効果的な校運営の観点から、将来を見据えて5校を1校に再編して、現在の仙台校敷地に新設（一部改修）する。また、訓練科の見直しや訓練内容の充実を図る。併せて、技能検定等を行っている人材開発センターについても築年数が経過していることから建て替える。

これにより、富県躍進に向けたものづくり産業の人材育成を図るものである。

【参考】

予 定 地：仙台市宮城野区田子1-4-1（仙台高等技術専門校敷地内）

敷地面積：39,028.24㎡

事業規模：施設	本館（鉄筋コンクリート造）	3,871.80㎡
	実習棟（鉄筋コンクリート造）	7棟 13,128.58㎡
	（うち改修 2棟	5,232.77㎡）
	人材開発センター棟（鉄筋コンクリート造）	1,008.00㎡
	計	18,008.38㎡

費用	初期建設費	12,168百万円（機器整備含む）
	維持管理費	7,721百万円（維持管理期間20年）
	計	19,889百万円

3 スケジュール

令和3年度	大規模事業評価
令和4年度	プロポーザル方式による設計事業者選定
令和5～6年度	基本設計・詳細設計
令和6年度	改修工事・仮設建物工事
令和7年度	解体工事（本館等）
令和8～9年度	新築工事
令和10年4月	供用開始（予定）
令和10年度	実習棟解体工事（現1号館，現2号館）

4 県の評価

今回の再編整備は、若年者の人口減少、企業が求める人材の変化や将来を見据えた効率的・効果的な校運営の観点から、訓練科を見直し企業のニーズに対応した訓練を実施するとともに、築年数が経過した施設の更新を図り、新たな高等技術専門校づくりを推進するものである。

建設に当たっては、現仙台校敷地での建替のため、周辺環境に新たな影響を与える可能性は低く、また、既存施設を活用することで事業費も抑制できることから、当該事業を実施することは適切であると判断した。